

わかやマガジン

和歌山が人

2024.12



目次

- P1.【今月のphoto】
串柿の里 四郷（かつらぎ町）
- P2.【統計Pickup】
和歌山県の耕地面積に占める樹園地の割合は63.5% 全国一高い樹園地面積割合
【お知らせ】
5年に一度の一斉調査
2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。
- P3.【Topics 1】
和歌山県下初！！
「オーガニックビレッジ宣言」をかつらぎ町が行いました。
【Topics 2】
和歌山森林管理署とお祭りに出展しました！
- P4.【旬のもの】
今月はキウイフルーツをご紹介します🍌
【こだわりの食品】
和歌山県内にある、素敵なお店をご紹介します♪



串柿の里 四郷（かつらぎ町）

和泉山脈の標高約300mのところ、四郷（しごう）と呼ばれる串柿の生産量が日本一の地域があります。

秋になると、オレンジ色に彩った串柿が玉のれんのように農家の軒先にずらっと並びます。串柿は約400年前から生産され、例年の見ごろは11月初めから中頃までとなっています。

発行・編集

近畿農政局和歌山県拠点
〒640-8143

和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5階
TEL：073-436-3831



和歌山県拠点HP

和歌山県の耕地面積に占める樹園地の割合は63.5% 全国一高い樹園地面積割合

図 令和6年耕地種類別面積及び割合
(和歌山県)

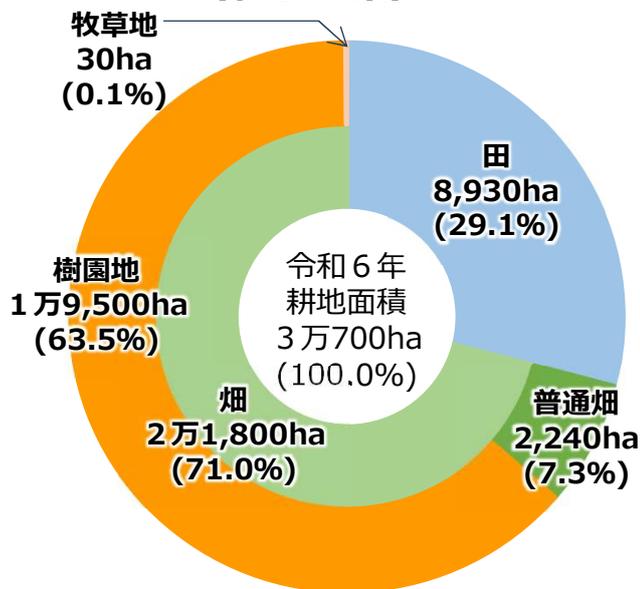


表 耕地面積に占める樹園地面積の割合
上位3都道府県 (令和6年)

順位	全国・都道府県	耕地面積 (田畑計)	樹園地面積	耕地面積に占める樹園地面積の割合
	全国	4,272,000 ha	248,600 ha	5.8%
1	和歌山県	30,700	19,500	63.5
2	山梨県	23,000	9,830	42.7
3	愛媛県	43,600	17,700	40.6

資料：農林水産省大臣官房統計部 令和6年10月29日公表
「作物統計調査 令和6年耕地面積（7月15日現在）」

資料：農林水産省大臣官房統計部 令和6年10月29日公表
「作物統計調査 令和6年耕地面積（7月15日現在）」
注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

公表資料の詳細はこちら →



お知らせ

5年に1度の一斉調査
2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬～令和7年2月末	農林業経営体調査
令和7年1月中旬～令和7年2月末	農山村地域調査（市区町村調査）
令和7年10月上旬～令和7年12月末	農山村地域調査（農業集落調査）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。
また、調査票はオンラインによる回答も可能です。

農林業センサスに関するお問合せ先は

連絡先：農林水産省 大臣官房統計部 経営・構造統計課センサス統計室
農林業センサス統計第1、2班

電話：03-3502-5648（農林業経営体調査について）
：03-6744-2256（農山村地域調査について）



農林業センサス

農林業センサス 2025



Topics 1

和歌山県下初！！

「オーガニックビレッジ宣言」をかつらぎ町が行いました。



【オーガニックビレッジ宣言】

かつらぎ町は、和歌山県の北部に位置し、清流や緑豊かな自然に恵まれた地域で、柿、桃、梅、スモモ、ブドウ、りんご、梨など、多品種の果樹栽培がおこなわれているフルーツ王国です。特に柿は国内有数の生産地です。

本町では、慣行農業と共存共栄しながら、全国的にも実例の少ない中山間の地形を活かした果樹の有機栽培に取り組んでおります。国の「みどりの食料システム戦略」の趣旨を踏まえ、化学肥料や化学合成農薬に極力頼らず、環境に配慮した農業の普及により、持続可能で環境にやさしい農業を目指します。食の安心・安全が叫ばれる今だからこそ、未来の子ども達に豊かな自然・資源を引き継ぐ取り組みを推進し、ここにオーガニックビレッジを宣言します。



令和6年10月15日

かつらぎ町長 中阪雅則

※オーガニックビレッジとは

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいいます。

農林水産省では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）を2030年までに200市町村創出することを目標に、全国各地での産地づくりを推進しています。



2006年12月8日に有機農業推進法が成立してから10周年を記念し、2016年12月8日に「有機農業の日」として制定されました。

有機農業とは、化学肥料や化学農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法です。土壌環境や生物の多様性など、農業生態系を守ることにつながります。皆さんの身近なところにも、オーガニックな「モノ」「コト」があふれています。「有機農業の日(オーガニックデイ)」をきっかけに、新しい体験をしてみませんか？

Topics 2

和歌山森林管理署とお祭りに出展しました！

「田辺市農林水産業まつり2024」

令和6年11月10日



今年も、扇ヶ浜交流広場、カッパークで開催されました。

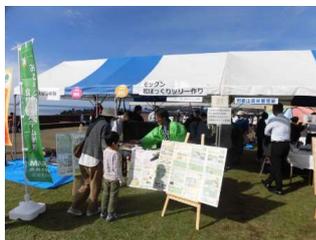
「じゃばらの里の収穫祭」

令和6年11月17日

北山村最大のお祭りが、おくとろ公園で開催されました。



和歌山県拠点は「みどりの食料システム戦略」をテーマにパネル展示を行いました。



和歌山森林管理署は「水に触れ、森に触れよう」体験として、「苔テラリウム制作体験」、「丸太切り体験」、「モックンで遊ぼう体験」を行いました。



旬のもの



「キウイフルーツ」をご紹介します🍌

中国原産でニュージーランドから広がったキウイフルーツ。和歌山県の生産量は全国3位となっています。収穫期は11月から旬を迎え4月まで。ぜひ、和歌山県産のキウイフルーツを味わってください。

○栄養：ビタミンCやビタミンEが多く風邪予防や美肌作りに効果があります。加熱せず生で食べられるので、加熱に弱い栄養素もそのまま体に取り入れることができます。

○食べ方：収穫時には、実は硬いので、柔らかくなるよう追熟が必要な果物ですが、商品によっては、追熟済みのものもあります。追熟の方法は一般的には、リンゴやバナナなどエチレングスが発生するものと一緒にポリ袋などに入れて、室温でだいたい1週間ほど置きます。その間、キウイが柔らかくなったか触ってチェックして下さいね。

こだわりの食品

和歌山県内にある、素敵なお店をご紹介します♪

★街で見かけた素敵なお店

今回は、和歌山市の「くくたちshop+cafe」さんをご紹介します。

野菜ソムリエでもある正田さんが厳選した、和歌山の農家さんが作った農産加工品や和歌山県内のこだわりを持った加工品を扱うセレクトショップです。

こだわり抜いた商品は、すべて正田さんが直接農家さんと会話を聞いて納得したものばかり。商品のことは何でもわかっており、農家さんのこだわりや商品のすばらしさを熱く語ってくれます。

月1回店頭で開催するマルシェには、農家さんとお客さんの距離が近づいてほしいという正田さんの願いが込められています。農家さんが直接出店しており、農家さんとお客さんの楽しそうな会話が聞こえる空間です。



昨年は、産地訪問バスツアーを開催したそうで、お客さんからは、実際に生産現場を見て話を聞けグッと農家さんとの距離が近づいたと好評だったそうです。

こういった企画を今後も続けていければ、といいます。機会があれば参加してみたいかがですか？

お店のHPは
こちら👉



住所：和歌山市出口甲賀丁38-2
電話番号：073-460-8137
定休日：月・火・第2、4日曜日
営業時間：10:00～18:00

<ご意見・ご感想>

広報紙「和歌山が人（わかやマガジン）」へのご意見・ご感想をこちらからお寄せください。今後の広報誌作成・編集の参考にさせていただきます。



“わかやマガジン”とは、和歌山県の人(生産者・消費者や農業に関係するすべての人)に親んでもらえる情報誌にしたいという思いを込めた造語です。